

わかりやすい 藤沢市の財政

2019

平成31年度予算と平成29年度決算から
藤沢市の財政状況を見てみよう



「キュンとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

藤沢市の財政状況を
わかりやすく
解説しました。

藤 沢 市



- もくじ
- 1 みんながわかる財政のはなし(入門編) … 1
 - 2 平成31年度予算を見てみよう …… 7
 - 3 平成29年度決算を見てみよう ……11
 - 4 藤沢市の借金はどうなっているの? ……16
 - 5 藤沢市の貯金はどれくらい? ……20
 - 6 これから先の藤沢市の財政は? ……21
 - 7 財務書類でわかる藤沢市の財政状況 ……24

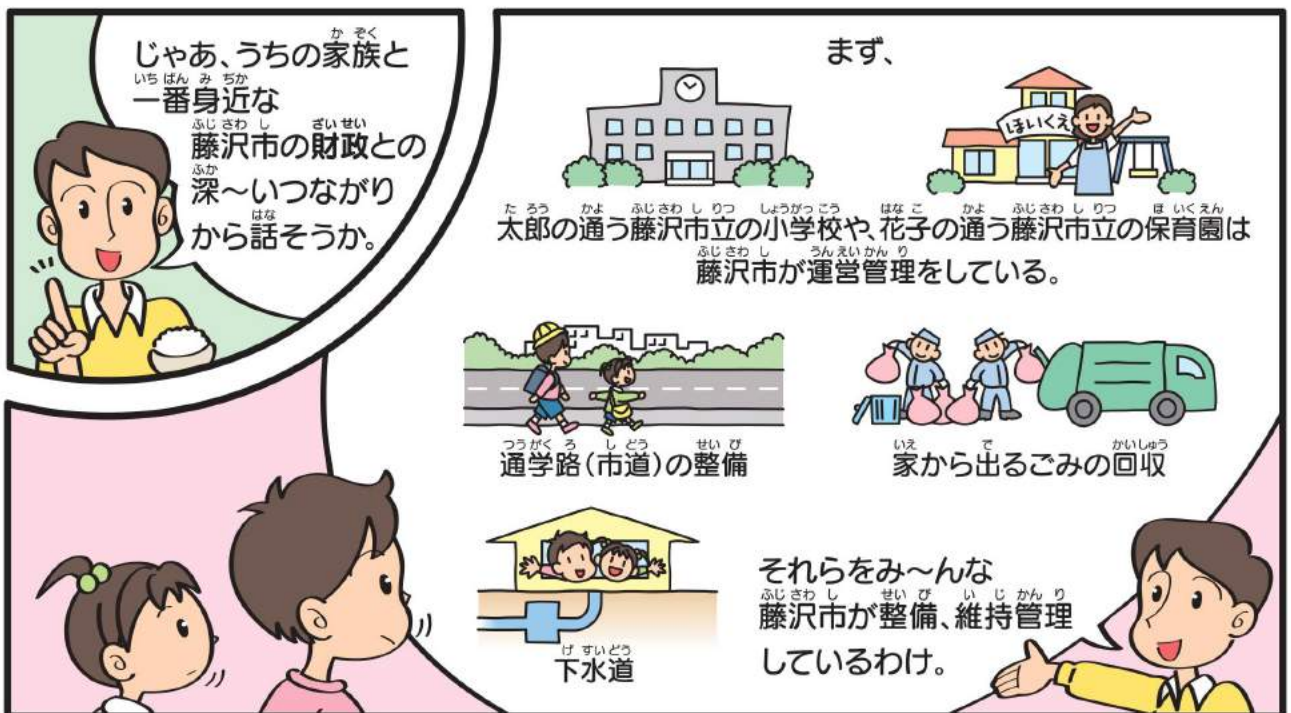
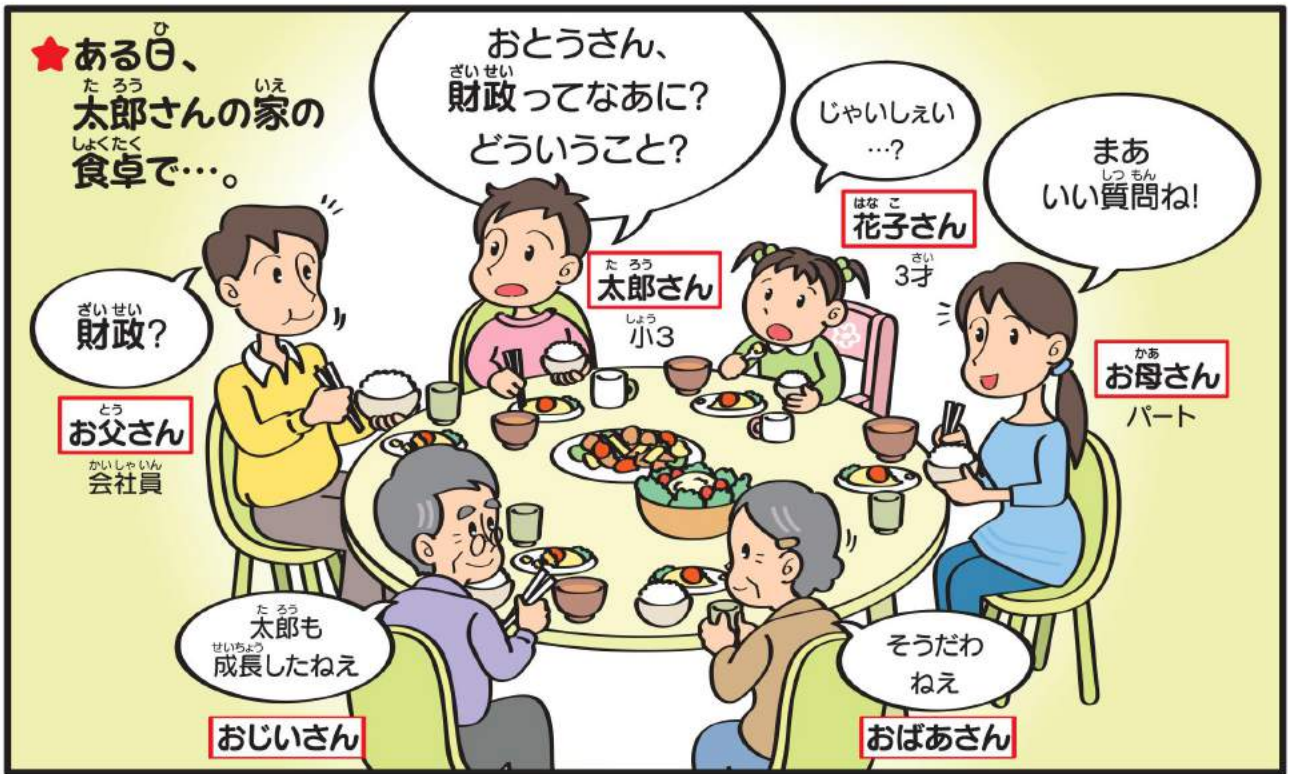
1 みんながわかる財政のはなし

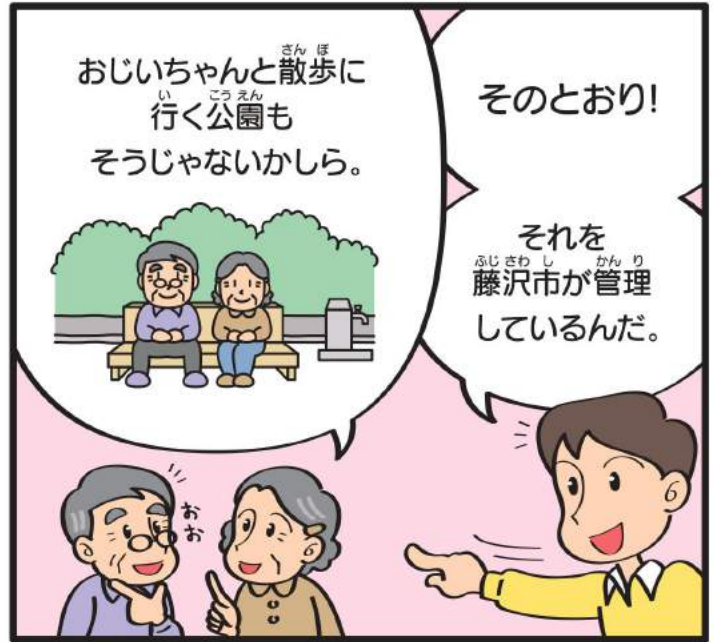
にゅうもんへん 入門編

ざいせい

みなさんは「財政」ということを聞いたことがありますか？ 藤沢市の「財政」はみなさんの生活と密接に関係しているといえます。ここでは、主人公 藤沢太郎さん(小学3年生)と太郎さんの家族の生活をとおして、藤沢市の「財政」がどのようなかをみてみます。

1 「財政」ってどういうこと？





2 「予算」ってどうやって決めるの？



ここで問題です!

Q1. 神奈川県には、横浜市や川崎市などの大都市も
含めて19の市がありますが、
藤沢市の「一般会計」の「予算」の額の多さは
19市のうち何番目でしょうか？

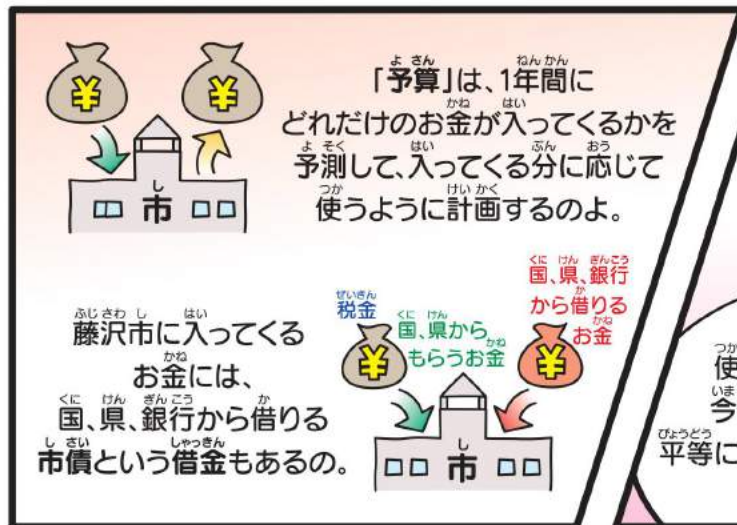
- ①1番目 ②5番目 ③10番目

クイズのこたえは、このページの下にあります。



② : そのこの10
横浜市、川崎市、相模原市、横浜原市、横須賀市に次ぐ5番目です。

3 使うお金はどうやって集めるの？





それではふたたび問題です!



Q2. 藤沢市全体の「借金残高」は市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ3万3千百円
- ② およそ33万1千円
- ③ およそ331万円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



コラム

借金してもだいじょうぶ?

藤沢市はどのような理由で借金をするのでしょうか。
太郎さんが通う小学校の建て替え工事に例えてみましょう。

もしも…



小学校の建て替えに20億円以上の支払いが必要です



一度に払ってしまうと、小学校、保育園の運営管理、通学路の整備、ごみの回収、下水道の維持管理にお金がありません

そこで…

学校の校舎などずっと使用していくものは、今使う人も将来使う人も平等にみんなで支払いをしていくことにしているのです。



藤沢市が集めたお金のほかに借金をします



長い間に分けて借金を返していきます





それでは最後の問題です!

Q3. 藤沢市の「貯金」(「基金」)は
市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ4千5百円
- ② およそ4万4千8百円
- ③ およそ44万8千円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



金問正解
すろぞろ

4 使ったお金はどうやって確認するの?



入門編はここまで。次のページからは「財政」の詳しいことが書いてあります。

© 2019 藤沢市 財政課

2 平成31年度予算を見てみよう

もっと知りたい
あなたに

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。つまり、3種類のお財布があって、お金の出し入れをしています。



一番大きいお財布が「一般会計」です。

1,490億
2,200万円

一般会計

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金の出し入れするお財布です。

平成31年度の当初予算の額は、1,490億2,200万円になっています。

次のお財布は「特別会計」です。

758億
8,428万円

特別会計

それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。

藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など6つの特別会計があります。

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費… 27億7,653万円
- 湘南台駐車場事業費…………… 5,998万円
- 墓園事業費…………… 6億 455万円
- 介護保険事業費…………… 281億3,064万円
- 国民健康保険事業費…………… 385億9,494万円
- 後期高齢者医療事業費 …… 57億1,764万円

最後のお財布が「公営企業会計」です。

442億
8,923万円

公営企業会計

民間の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。藤沢市には下水道と市民病院の2つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費 …… 217億6,153万円
- 市民病院事業 …… 225億2,770万円

全会計 **2,691億9,551万円**

● 予算規模の推移



一般会計も
特別会計も
増えたね



平成31年度の一般会計の当初予算は、子育て支援と教育環境の充実や市役所分庁舎の整備などにより、前年度の当初予算に比べ増加しています。

特別会計・公営企業会計の当初予算も、介護保険事業費における介護給付費や下水道事業費における工事費などが伸びているため、前年度の当初予算に比べ増加となっています。

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの？

では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成31年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
979億8,121万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



市民のみなさん 藤沢市

依存財源
510億4,079万円

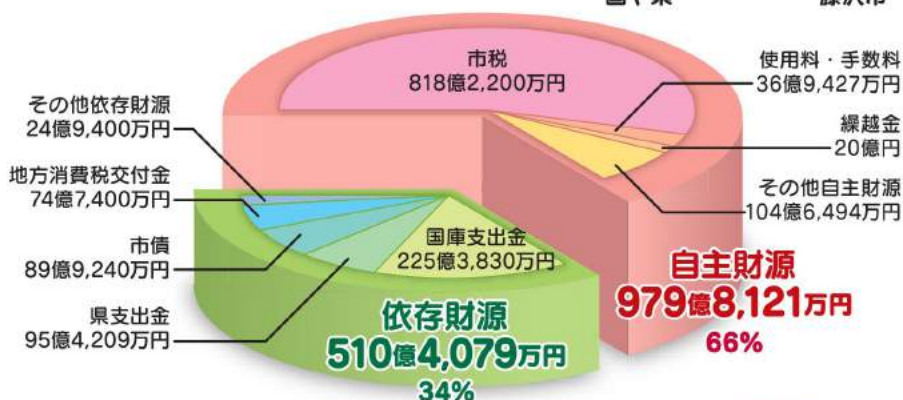
道路や施設をつくるときに国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国や県が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。



国や県 藤沢市

●平成31年度歳入予算の内訳

藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。



●一般会計歳入予算に占める市税の推移



およそ半分が市税なんだ…

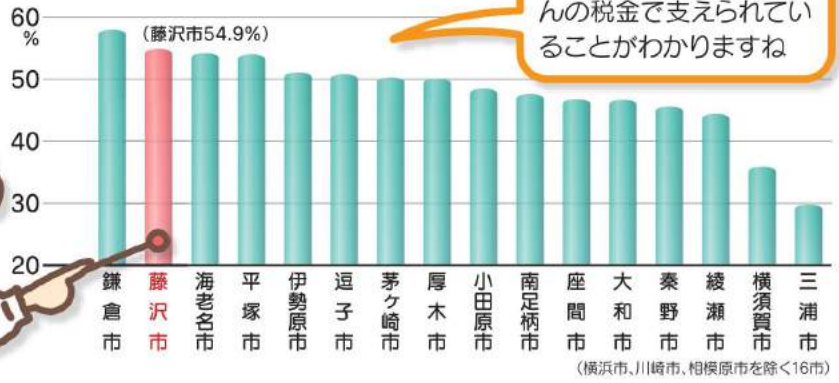


歳入総額
1,490億2,200万円の
54.9%が市税

平成31年度予算の市税収入は、基金からの繰入金や地方債を増額したことなどにより、歳入全体に対する市税の割合は減少しましたが、個人市民税や法人市民税の増額を見込んで、平成30年度当初予算比で約26億円増の約818億円としています。

●歳入予算に占める市税の割合(県内16市との比較)

藤沢市は県内16市中
第2位です



コラム 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません。例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…

藤沢市の予算

こうなります。

歳入	
市税	818億2,200万円
使用料、手数料など	161億5,921万円
【自主財源合計】	979億8,121万円
国・県支出金など	420億4,839万円
市債の発行	89億9,240万円
【依存財源合計】	510億4,079万円
歳入の合計	1,490億2,200万円

歳出	
人件費	270億9,540万円
扶助費	419億3,424万円
物件費	260億7,404万円
投資的経費・維持補修費	182億4,412万円
公債費	85億3,594万円
繰出金・補助費など	246億4,255万円
積立金・貸付金など	24億9,571万円
歳出の合計	1,490億2,200万円

1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収入	
お父さんの給料	22万5,000円
お母さんのパート代	4万4,000円
【給料などの合計】	26万9,000円
その他臨時収入	11万6,000円
銀行からの借入	2万5,000円
【臨時収入の合計】	14万1,000円
収入の合計	41万円

支出	
食費	7万5,000円
医療費・保育料	11万5,000円
光熱水費や被服代	7万2,000円
家の増築・修理、家財購入	5万円
住宅ローン返済	2万3,000円
子どもへの仕送り	6万8,000円
貯金	7,000円
支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 730億5,303万円 家計簿に例えると 245万1,000円
 預貯金の残高(基金残高) 148億1,859万円 家計簿に例えると 49万7,000円

※平成29年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で65.6%を占めています。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。



3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの？



入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、福祉や子育てのほか、道路や学校などをつくったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、さまざまな事業にお金が使われます。

● 目的別のお金の使い道



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路を作るときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)やその他の社会保障施策に使われています。

3 平成29年度決算をみましょう


1 今度は平成29年度普通会計決算から藤沢市の台所事情を見てみましょう。

総額1,529億9,000万円

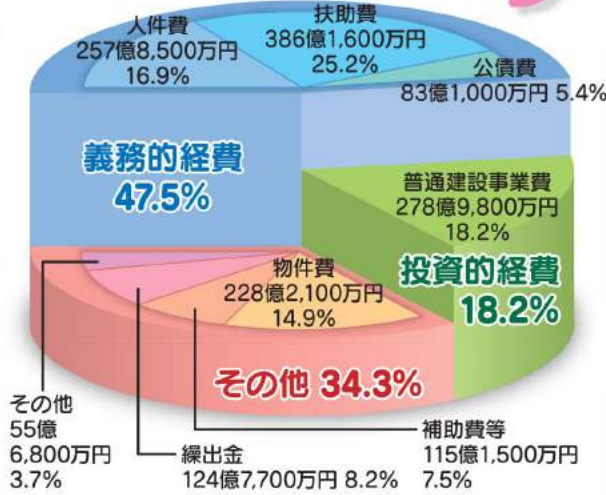
● 性質別のお金の使い道



扶助費
生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを支援するために使われます。




繰出金
国民健康保険事業や土地区画整理事業などに対して医療費や建設費を補助するために使われます。




公債費
国や銀行などから借入れたお金の返済に使われます。

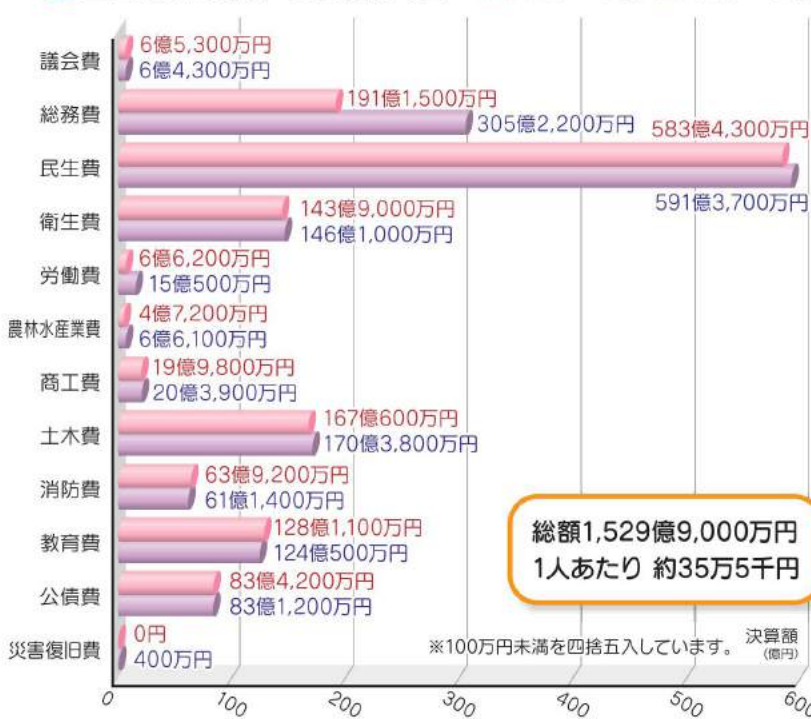


普通建設事業費
道路、橋、公園、学校などの公共施設の整備に使われます。



補助費等
下水道事業や市民病院事業に対する負担金、幼稚園や保育所への補助金などに使われます。

● 目的別のお金の使い道



総額1,529億9,000万円
1人あたり 約35万5千円

平成30年3月31日現在 藤沢市人口430,662人

★ 普通会計とは？

他市町村との比較に使います
市町村ごとに会計の範囲が異なり、財政状況の比較が困難なため、統計上用いる会計区分です。
藤沢市の普通会計は、一般会計と3つの特別会計(墓園事業費、北部第二(三地区)土地区画整理事業費、柄沢特定土地区画整理事業費)の一部を合わせたものです。



2 義務的経費について見てみましょう。

人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務づけられ、節減することが難しいため「義務的経費」と分類されます。

義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい市民サービスや公共施設の建設などが難しくなります。

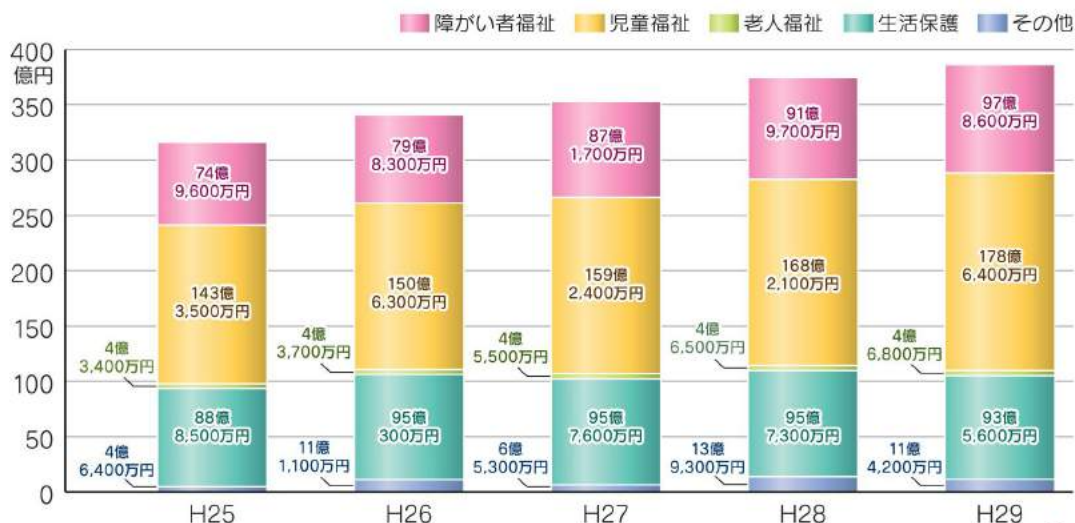


●人件費、扶助費、公債費の10年間の推移

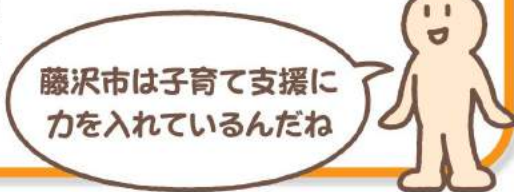


- 人件費は、増減はありますがほぼ横ばいで推移しています。
- ▲ 扶助費は10年間で約195億円増加しました。平成29年度は、臨時福祉給付金や児童保育委託費などの増により、前年度比で約11億7千万円の増加となっています。
- 公債費は、10年間で約12億4千万円減少しています。

扶助費は何が増えているのでしょうか？



障がい者、子ども、生活困窮者に対する扶助費が増えています。4年前と比較し全体で約70億円の増加(障がい者福祉費が約23億円、30.6%増、児童福祉費が約35億円、24.6%増、生活保護費が約5億円、5.3%増など)となっています。



●歳出全体に占める義務的経費の割合



- 義務的経費は10年間で約184億円(33.9%)増えました。歳出全体に占める割合は、平成22年度以降、継続して50%前後の水準で推移しています。

歳出は扶助費をはじめ、義務的経費が増える傾向であることがわかりました。藤沢市の財政運営は大丈夫なのでしょうか。二つの指標から見てみましょう。



3 「自主財源比率」は財政の安定度をあらわします。

★自主財源比率とは？

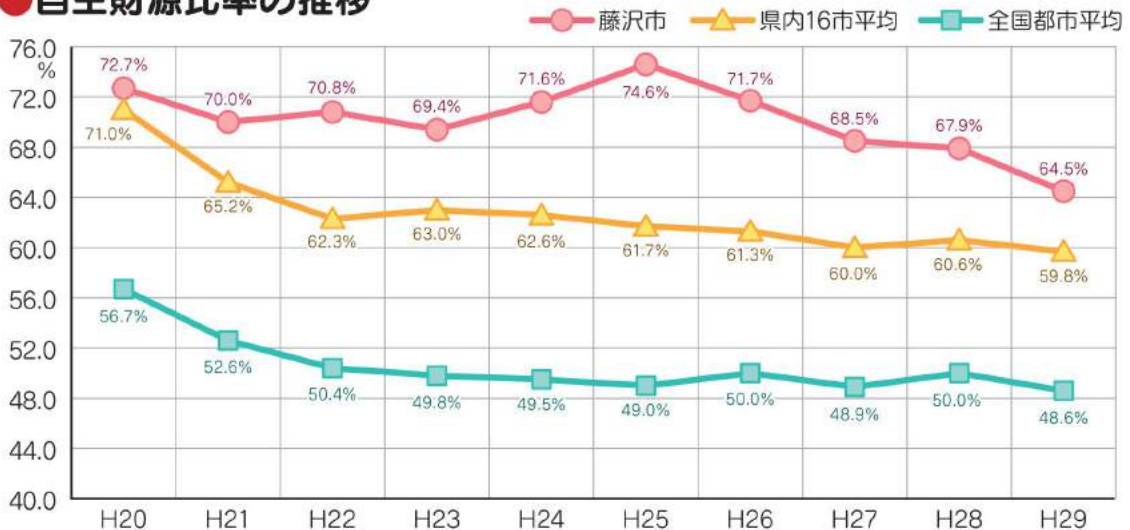
財政の安定度や健全度を示す指標です。

市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかをあらわし、比率が高いほど財政基盤の安定性があります。

市税・使用料
など

歳入総額

●自主財源比率の推移



全国都市平均は平成20年度以降低下傾向にあり、平成22年度以降は、50%前後で推移しています。藤沢市は64.5%と市民や企業の担税力に支えられ、全国都市平均を上回る高い率となっています。

4 「経常収支比率」は台所事情をあらわします。

★経常収支比率とは？

自由に使えるお金がどのくらいあるかがわかります。

社会経済や市民ニーズの変化に的確に応えていくための財源がどの程度確保されているかを示します。算出方法は、

毎年度固定的に支出される経費(※)に使われた一般財源
 $\frac{\text{市税等の経常的な一般財源}}{\text{自由に使えるお金}}$ です。

※人件費、扶助費、公債費などです。

家計における食費やローンの返済額の割合と同様に、その比率が低ければ自由に使えるお金が多くなります。



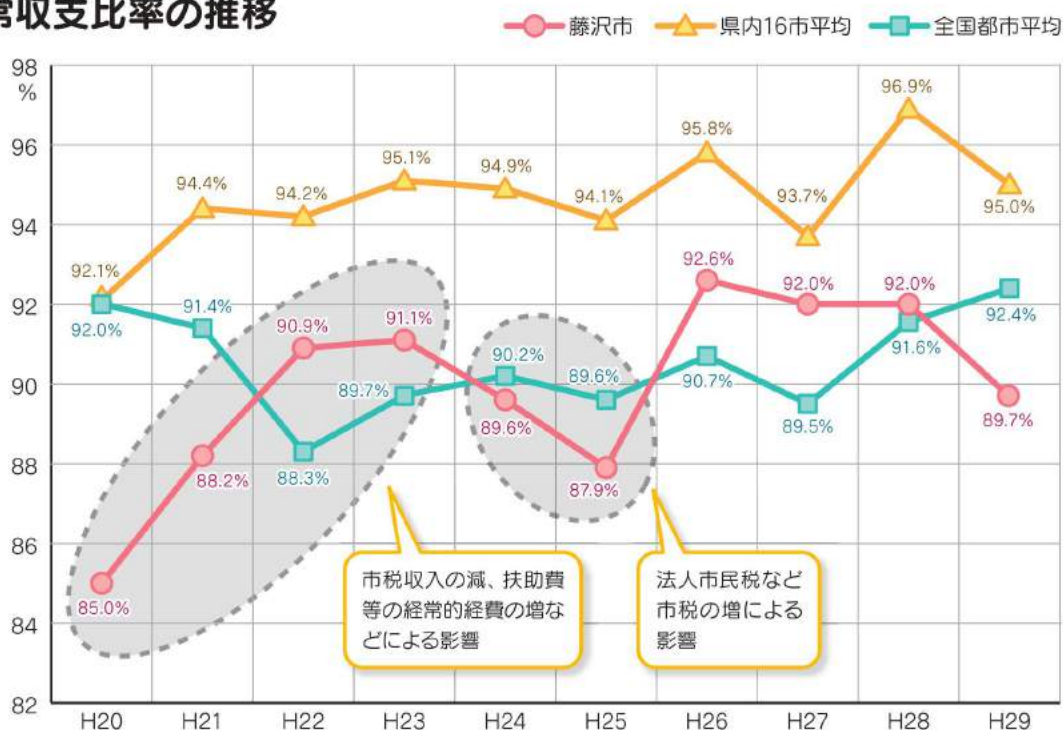
★一般財源とは？

使い道が特定されない、どの事業にも使える収入のことです。主なものに市税、国からの譲与税などがあります。

それに対して、国や県からの補助金など、使い道が決まっている収入を特定財源といいます。



●経常収支比率の推移



経常収支比率は一般的に80%程度が望ましいと考えられていましたが、現在では大多数の市が80%を超えており、平成29年度決算の全国都市平均は92.4%となっています。

藤沢市は、経常収支比率の分子の扶助費等が増加したものの、分母の税収も増加したため、89.7%となっています。

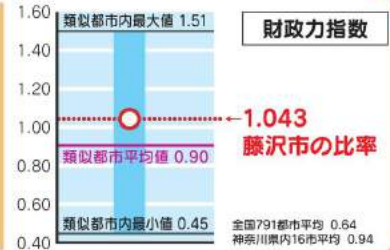
5 財政指標ランキングコーナー!!

財政状況を見る財政指標にはいろいろありますが、ここでは主な財政指標を取り上げました。

財政力指数



財政力指数は、標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを見る指数です。
指数が大きいほど財政力が強く、1未満になると国から普通交付税が交付されます。



実質収支比率



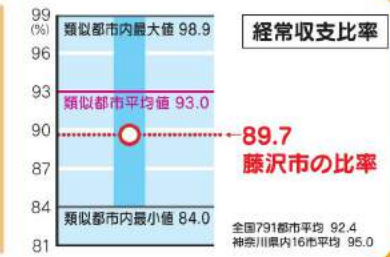
歳入歳出の形式的収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額(黒字または赤字額)が、標準財政規模に対してどの位の割合になるかを表すものです。
よりわかりやすく言うと黒字率や赤字率を見る指標です。



経常収支比率



扶助費や人件費など経常にかかる経費に対して、市税や各種交付金など経常に入ってくる一般財源をどの位の割合で使っているかを表すもので、財政の弾力性や硬直度を見る指標です。
この比率が高いほど財源の余裕が少なくなり、政策的に使えるお金が少なくなります。



自主財源比率



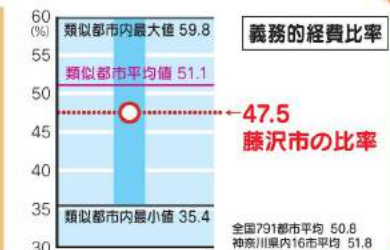
市税や使用料・手数料などの自主財源が歳入全体に対してどの位の割合になるかを表し、財政の安定度や健全度を示す指標です。
この比率が高いほど財政基盤の安定性があります。



義務的経費比率



人件費・扶助費・公債費の義務的経費が歳入全体に対してどのくらいの割合になるかを表し、財政の硬直度を示す指標です。
この比率が高くなると、経常経費が増大して財政構造が硬直化することになります。



実質公債費比率は18ページ、将来負担比率は19ページで紹介しています。

※注1：いずれの財政指標も平成29年度決算に基づく財政指標です。

※注2：県内16市は、政令市(横浜市、川崎市、相模原市)を除いた市です。

※注3：類似都市は、人口15万人以上、産業構造の2次及び3次産業が90%以上、3次産業が65%以上の33都市です(藤沢市含む)。

【ランキングデータの出典】全国都市財政年報/日本経済新聞社

4 藤沢市の借金はどうなっているの？

1 どうして借金をするの？



「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があります。

公共施設の整備には一時期に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他のサービスが提供できなくなってしまいます。
また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債を活用して世代間で平等に費用の負担をお願いしています。



2 借金はどれくらい？

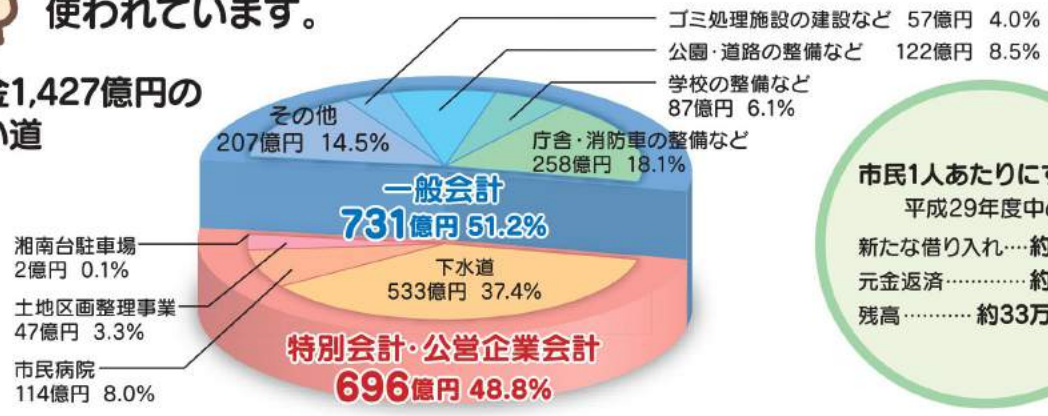
平成29年度決算から見てみましょう。

藤沢市の借金は、平成29年度に約214億円を借り入れて、約129億円返済しました。借金残高は、市全体で約1,427億円です。



借金は、主に公園、道路、学校、下水道などの公共施設の整備に使われています。

借金1,427億円の使い道



市民1人あたりにすると
平成29年度中の
新たな借り入れ…約5万円
元金返済…約3万円
残高…約33万1千円

借金の額がわかりましたが、額が大きすぎてイメージがつかみにくいですね。借金残高と借入額について、推移と市民一人あたりの金額を見てみましょう。



●借金残高の推移



平成29年度は本庁舎の整備などで借入れが一時的に増加したため、借金残高は約85億円増加しました。

★借金以外の市と比べて多いの？ 少ないの？

平成29年度決算では市民1人あたりの借金残高が県内16市の中で最も少なくなっています。
(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)

藤沢市
約18万円

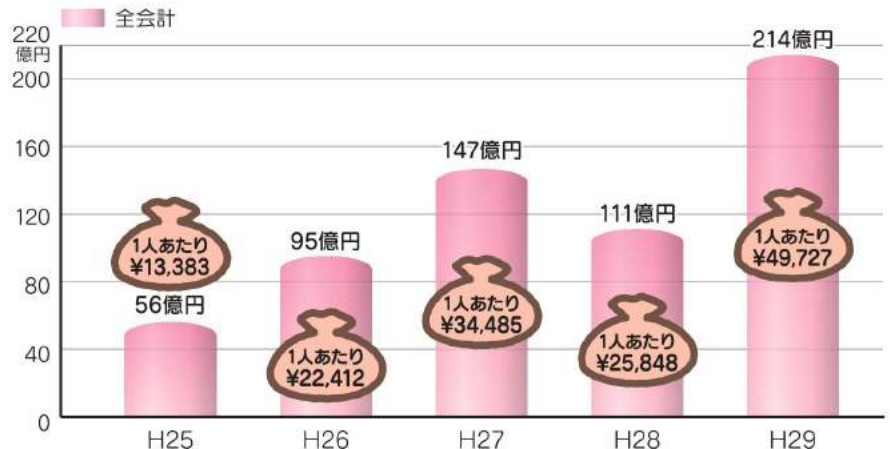
最高 A市
約56万円

16市平均
約27万円

※他市と比較するため普通会計(11ページに説明があります)の数値になります。

県内で**1番**
少ないんだ!

●借入額の推移



平成29年度は本庁舎の整備などで借入額が大幅に増加し、前年度に比べ約103億円増となりました。

市債？ 国債？

市の借金のことを「市債」
 国の借金は「国債」
 県の借金は「県債」と呼びます。

どこからお金を借りているの？

市債は国、県、銀行などから借りています。

3 借金の返済額は妥当なの？



健全化判断比率(実質公債費比率)から見てみましょう。

借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準に「実質公債費比率」というものがあります。収入に対して返済額がどの程度の割合になるのか、借金返済の負担が多すぎないかをチェックするものです。

借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、藤沢市は1.2%(平成29年度決算)で良好な状態にあります。

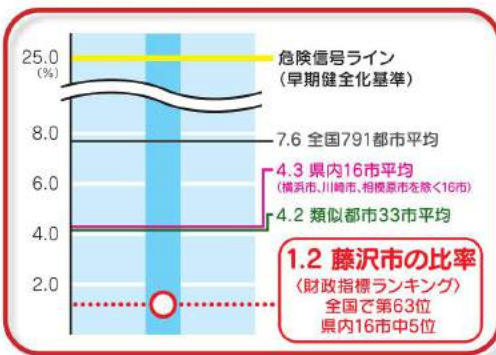


家計に例えると(実質公債費比率)

家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなど、その年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いという危険信号を示しています。



●実質公債費比率(他市との比較)



●返済額の推移



返済額はおおむね減少傾向にあります。



★財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」って？

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「財政健全化法」で、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」を議会や市民のみなさんに毎年公表することが義務づけられています。

健全化判断比率は、4つの指標①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率があり、赤字や負債(借金返済)の状況など4つの視点から示すものです。

①・②は年間の赤字の割合(①は一般会計等、②は全ての会計を対象)、③は借金の返済額の割合、④は将来の負担が見込まれる負債の割合をチェックするものです。

4 将来の市民に負担はかからないの？



健全化判断比率(将来負担比率)から見てみましょう。

借金や数年間にわたる契約により約束された支払い、職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度なのかを示す指標として、「将来負担比率」というものがあります。負債にかかる負担が大きいかをチェックするものです。

将来財政を圧迫する可能性が高いとされる目安350%に対して、藤沢市は44.9%(平成29年度決算)で良好な状態にあります。



家計に例えると(将来負担比率)

家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済していかなければならない返済総額が、年収の3.5倍以上になった場合には、今後ローン返済などに追われ家計が成り立たなくなり、経済的苦境におちいる状態にあることを示しています。



● 県内16市将来負担比率



県内9番目だね



藤沢市の比率は、県内16市中、将来負担が少ないほうから数えて9番目です。類似都市平均、全国平均からみても良好な状態にあるといえます。

(横浜市、川崎市、相模原市を除く県内16市)



健全化判断比率からみた平成29年度の藤沢市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す基準値を下回っており、「健全」と言えます。

● 健全化判断比率

比率	藤沢市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	H29	H28		
実質赤字比率	(▲ 8.38)	(▲ 5.77)	11.25	20
連結実質赤字比率	(▲20.58)	(▲19.21)	16.25	30
実質公債費比率	1.2	1.3	25	35
将来負担比率	44.9	25.4	350	

単位：%

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率の比率欄「-」は、それぞれ比率の算定の結果、「実質赤字額がない」ことを表しています。参考として()にマイナスの比率を表記しています。

★ 早期健全化基準・財政再生基準とは？

市の財政状況が悪化し、危うくなったときにイエローカード(早期健全化基準)で警告をします。

更に悪化し自主的に財政の立て直しができなくなったときは、レッドカード(財政再生基準)で、国・県の関与のもと、確実な財政の立て直しに着手することになります。



5 藤沢市の貯金はどれくらい？

1 借金のことはわかったけど、貯金はあるの？ 平成29年度決算から見てみましょう。

藤沢市には貯金に相当する「基金」というものがあります。基金は、それぞれの基金条例に基づき、寄附金や基金利子などを積み立てて、基金の目的に応じて必要な時におろして使うものです。

藤沢市は財政調整基金をはじめ、公共施設整備基金、環境基金、愛の輪福祉基金など、全部で14の基金を持っていて、平成29年度末の総額で約192億9千万円、市民1人あたり4万4,800円の貯金があります。



※基金数は平成29年度末現在のものです。

● 財政調整基金の推移



いろいろな基金の中でも、財政調整基金は、年度間の財源の調整や、いざという時のために積み立てているものです。
財政調整基金のここ10年間の推移を見てみましょう。

Q 平成29年度には貯金をおろしたということ？

A そうです。平成29年度は、一般財源不足の補てんの財源として基金を取り崩しましたが、1年間のやりくりの中で約7億円貯金しました。

Q いざという時のためには、貯金があった方が安心だね

A そう、そのために今後も経済状況の落ち込みに伴う税収減による財源不足や、災害への備えなどのために、可能な限り財政調整基金に積み立てていく必要があります。

6 これから先の藤沢市の財政は？

1 将来も藤沢市の財政は大丈夫なの？



中期財政見通し(一般会計・平成30年11月時点)

現在、藤沢市は健全財政を維持する一方、毎年度の予算編成では多額の財源不足を生じており、歳出抑制や歳入確保に取り組む中で、何とか収支の均衡を図っている状況にあります。こうした課題を踏まえ、予算編成における財源不足を解消し、中期的な収支見通しを踏まえた計画的な財政運営を行っていくため、平成30年11月に「中期財政見通し」を策定し、公表しました。

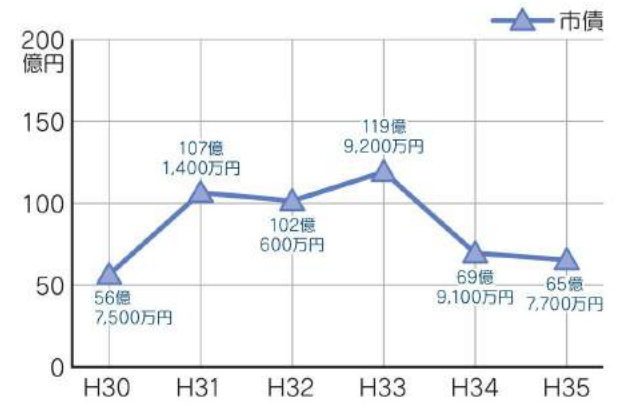
この中期財政見通しでは、何の対策も講じない場合、2019(平成31)年度からの5年間に約584億円の財源不足が生じる見込みとなっています。



●歳入の主な傾向

市税は、法人市民税が税制改正の影響により、5年間で14億円の減少となるなど、全体では横ばいからやや減少傾向と見込まれます。

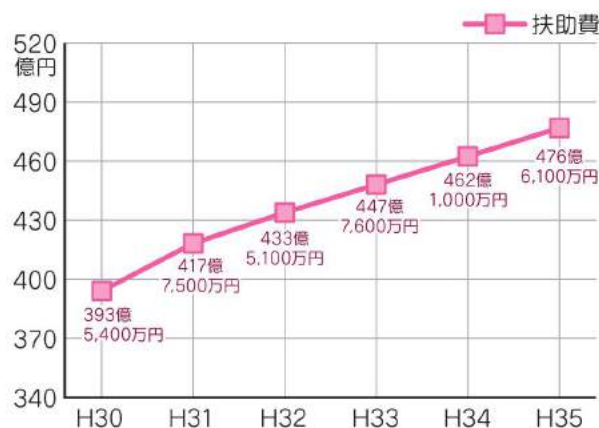
市債(借金)は、歳出の建設事業等経費の増加に連動して、2019(平成31)年度からの3年間に、毎年度100億円から120億円程度の借り入れが見込まれます。



●歳出の主な傾向

少子超高齢化の進展による扶助費の増加が引き続き見込まれます。

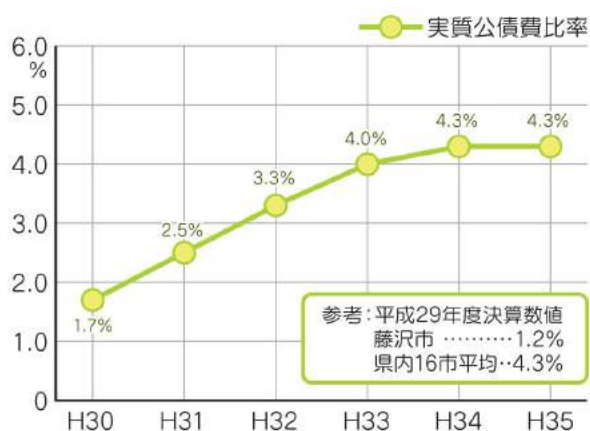
また、老朽化した公共施設の再整備や藤沢駅周辺地区などの都市基盤整備事業の進捗により、建設事業等経費について毎年度170億円から250億円程度の事業費が見込まれます。



●健全化判断比率(実質公債費比率、将来負担比率)

実質公債費比率は、建設事業等経費の増加に伴う借り入れ(市債)の増加等により年々上昇し、2022(平成34)年度に4.3%になると見込まれます。

将来負担比率についても、同様に、2022(平成34)年度には73.1%まで上昇する見込みです。



2 これからどうやって財政運営を行っていくの？

各年度に見込まれる財源不足を解消するためには、歳入に見合った歳出規模による予算編成を行う必要があります。そのため、次の各対策を着実に進めることで、毎年度の財源不足の解消を図りながら、引き続き健全財政の維持に取り組んでいきます。



●歳出抑制策

事業の優先順位付けによる事業選択を徹底し、財政負担の平準化を図ります。

また、事業の必要性・有効性などを再確認し、必要に応じた見直しを行っていきます。

●歳入確保策

国・県補助金等の積極的な獲得のほか、借り入れと返済のバランスを考慮した上で市債の有効活用を図ります。また、市税等の収入未済額の縮減やペイジーやクレジットカードなど多様な納付環境の整備により、自主財源の確保を進めていきます。

●基金の有効活用

年度間の財源調整機能として、各年度において不用となった予算の財政調整基金への積み立て(貯金)と翌年度での取り崩しを行うことにより、限られた財源の有効活用を図ります。

コラム

ふるさと納税について



★ふるさと納税とは？

ふるさと(自治体)に対する寄附のことです。自治体へ寄附をすると、その金額の一部が税金から控除され、今住んでいる自治体に納める市民税が減額(寄附金控除)となる仕組みで、ふるさと納税による寄附金は、子育てや教育、環境、文化振興などの事業に活用され、地方創生を推進するための有効な手段となっています。

Q ふるさと納税の問題点は？



A

一部の自治体では商品券・旅行券など換金性の高いものや、電化製品・宝飾品など資産性の高いものを返礼品とするなど、寄附金の獲得に主眼を置いた、いわゆる「返礼品競争」が起こっています。こうした返礼品競争は、本来の趣旨とは大きく懸け離れたものであり、決して望ましい状況とは言えないものです。

Q 市税の流出とは？



A

各自治体にお住いの方が、ほかの自治体へふるさと納税を行うことにより、本来納税されるはずであった市民税が寄附控除により減額となる「市税の流出」が起こります。「返礼品競争」の背景には、自治体間での市民税の奪い合いという側面もあります。

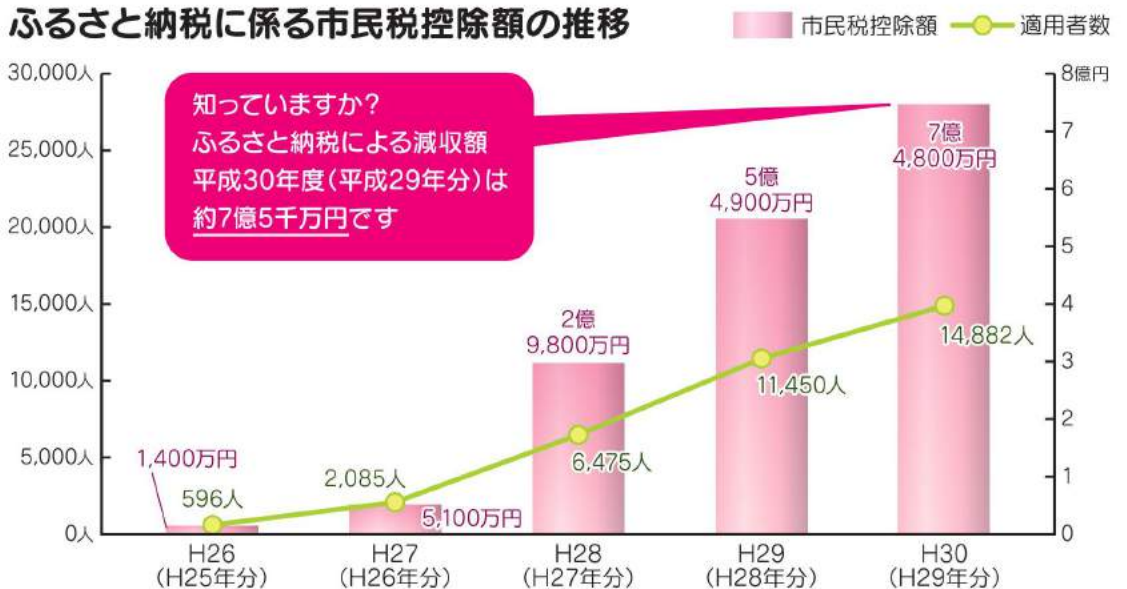
Q 藤沢市への影響は？



A

藤沢市の市民税の流出額は、平成29年度には約5億5千万円、平成30年度には約7億5千万円と急激に増加しています。このまま市民税の流出が止まらない状態が続けば、行政サービスへ何らかの影響が出る可能性も考えられます。

ふるさと納税に係る市民税控除額の推移



知っていますか？
 ふるさと納税による減収額
 平成30年度(平成29年分)は
 約7億5千万円です

7 財務書類でわかる藤沢市の財政状況

ここからは、少し見方を変えて、藤沢市の財政状況を「財務書類」からながめてみましょう。

「財務書類」とは、民間企業などでは「財務諸表」、「財務4表」と呼ばれている決算書類を、市が地方公会計制度に基づいて作成したものです。



1 財務書類ってどんなもの？

地方自治体の決算書では、現金の収支に重点を置いているため、土地・建物等の資産、借金の残高等の負債、建物等の老朽化に伴う価値の減少等の見えないコストなどはわかりません。これらを明らかにしたものが財務書類です。

財務書類は、①どのような資産をどのくらい持っているかなどがわかる**貸借対照表**、②行政サービスにどれだけ費用がかかっているかなどがわかる**行政コスト計算書**、③純資産が前年度に比べ、どのように変動したかがわかる**純資産変動計算書**、④現金の変動がわかる**資金収支計算書**の4つで構成されています。

Q 財務書類はどのような考え方で作っているの？



A

財務書類は、次の考え方を基にして作成しています。

- ①複式簿記・発生主義…お金のやり取りの原因となる事実が発生した日を基準にするので、これからの支払いや受け取りの予定が決まっている収入の状況などが明らかになります。
- ②固定資産台帳の作成…市が所有している資産の一覧を固定資産台帳として作成することで、所有資産の額がより正確なものになります。

Q 市はこれからどのようなことをしていくの？

A

財務書類を毎年作成し、過去の状況や他自治体との比較・分析などを進めていきます。

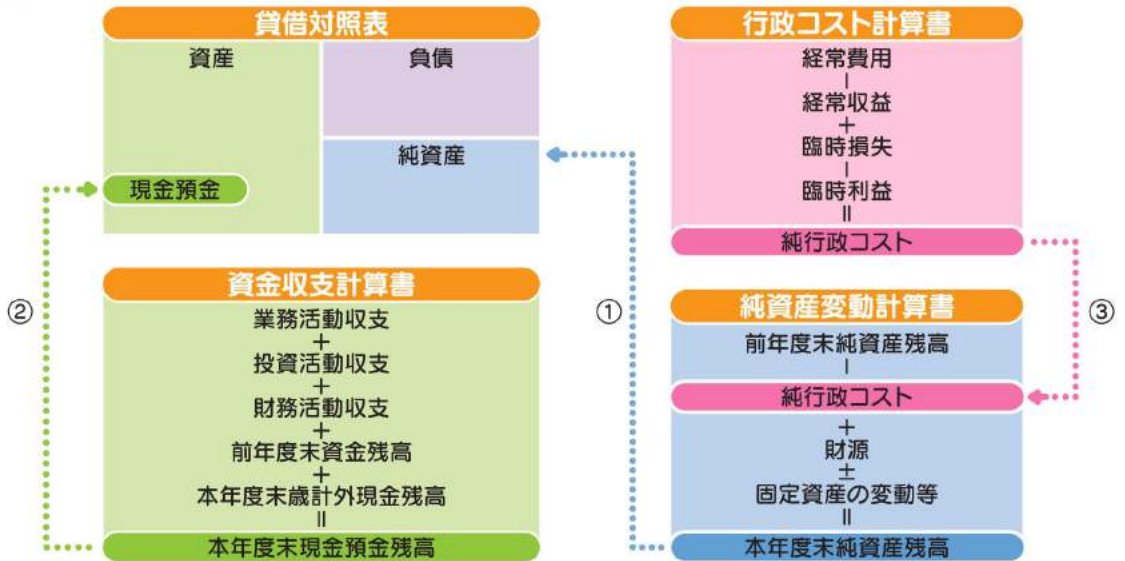
また、事業別や施設別の財務書類を作成することや、市の財政状況や施策の情報をよりわかりやすく説明することで、将来的には公共施設の老朽化対策、予算編成などにも活用することができるようになります。



Q 4つの財務書類の関係は？

A 図にすると、財務書類はそれぞれが密接に関係し、整合性が図られていることがわかります。

●財務書類の相関関係



- ①貸借対照表の純資産は純資産変動計算書の本年度末残高と一致します。
- ②貸借対照表の現金預金は資金収支計算書の本年度末残高と一致します。
- ③行政コスト計算書の純行政コストは純資産変動計算書のそれと一致します。

Q 市の会計はいろいろな種類があるけど、財務書類はどの範囲で作るの？

A 一般会計のほか、様々な特別会計や関連団体の財務書類を次の分類で作成します。

- **一般会計等**…一般会計及び地方公営事業会計以外の特別会計が対象
- **全体財務書類**…一般会計等に地方公営事業会計を加えたもの
- **連結財務書類**…全体財務書類に関連団体を加えたもの

藤沢市の場合は、次のとおりです。

一般会計等	一般会計	北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計 柄沢特定土地区画整理事業費特別会計 墓園事業費特別会計
	特別会計 (地方公営事業会計以外)	
全体財務書類	特別会計 (地方公営事業会計)	国民健康保険事業費特別会計 湘南台駐車場事業費特別会計 介護保険事業費特別会計 後期高齢者医療事業費特別会計 下水道事業費特別会計 市民病院事業会計
	関連団体	公益財団法人湘南産業振興財団 公益財団法人藤沢市保健医療財団 公益財団法人藤沢市まちづくり協会 公益財団法人藤沢市みらい創造財団 一般財団法人藤沢市開発経営公社 株式会社藤沢市興業公社 藤沢市民会館サービスセンター株式会社 藤沢市土地開発公社 社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会 神奈川県後期高齢者医療広域連合

次のページから
一般会計等の財務書類を使って、
もう少し詳しく説明していきます。

2 藤沢市にはどのくらいの資産があるの？ ～貸借対照表～

貸借対照表をみれば、資産、負債、純資産の額が一目でわかります。
 貸借対照表の左側(借方)には資産が、右側(貸方)の上部には資産の取得のために借り入れた借金などの負債が、右側(貸方)の下部には、借金以外の資産取得の財源である純資産がそれぞれ表示されます。
 貸借対照表は、必ず「資産＝負債＋純資産」という関係になります。



●平成29年度 貸借対照表(一般会計等)

平成30年3月31日現在

資産の部では、市が持っている学校や道路などの資産の価値をお金で表しています。

負債の部は、市債償還金など、将来お金が出ていくことを表しているもので、将来世代の負担といえます。

	借方	貸方
学校、図書館等の土地、建物、工作物など	【資産の部】	【負債の部】
道路等の土地、建物、工作物など	固定資産 8,829.3億円	固定負債 903.5億円
100万円以上の備品など	有形固定資産 8,281.7億円	地方債 699.9億円
ソフトウェア、地上権	事業用資産 4,682.9億円	長期未払金 7.5億円
下水道など企業会計や関連団体などへの出資金	インフラ資産 3,496.2億円	退職手当引当金 195.2億円
1年を超えて回収されない債権	物品 102.6億円	その他 0.9億円
特定の目的の基金の残高	無形固定資産 5.2億円	流動負債 103.6億円
回収が見込まれない部分	投資その他の資産 542.4億円	1年以内償還予定地方債 82.5億円
国・県の補助金や市税等の収入未済額のうち29年度に発生した分	投資及び出資金 448.5億円	未払金 2.3億円
財政調整基金の残高	長期延滞債権 19.9億円	賞与等引当金 15.3億円
	長期貸付金 0.2億円	預り金 3.5億円
	基金 75.2億円	負債合計 1,007.1億円
	徴収不能引当金 △1.4億円	【純資産の部】
	流動資産 176.0億円	固定資産等形成分 8,910.4億円
	現金預金 78.4億円	余剰分(不足分) △912.2億円
	未収金 17.8億円	純資産合計 7,998.2億円
	基金 81.1億円	負債・純資産合計 9,005.3億円
	徴収不能引当金 △1.3億円	
	資産合計 9,005.3億円	

△表示はマイナスを表します。

負債の部と純資産の部は、資産をどのように手に入れたのかを財源ごとに一覧にしたものです。

純資産の部は、市税や国・県からの補助金などを表しており、現在までの世代の負担といえます。

資産は約9,005億円で、うち約92%が建物や道路などの有形固定資産です。

資産に対する負債の割合は約11%ですので、藤沢市の資産はこれまでの世代の負担(純資産)によって築かれたものが大部分であることがわかります。

3 純資産ってどういうもの？ ～純資産変動計算書～

純資産は資産から負債を除いた金額で、純資産変動計算書は純資産額が前年度末(期首)に比べ、どのように変動したかを示したものです。

26ページの貸借対照表のとおり、純資産は、資産を取得した財源の内訳のうち、負債以外の「将来返済する必要がないもの」であることから、市税や国・県からの補助金などが財源になります。

本年度末純資産残高を見ると、余剰分(不足分)がマイナスになっており、今までの資産形成に市税や国・県等補助金だけでなく、地方債も活用しているということがわかります。

マイナスが大きいことは好ましいことではありませんが、16ページのとおり、地方債は世代間の公平性を保つための役割を持っていますので、多くの自治体で「余剰分(不足分)」はマイナスになります。



●平成29年度 純資産変動計算書(一般会計等)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	純資産合計		
		固定資産等 形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	7,829.0億円	8,761.0億円	△932.0億円
純行政コスト(△)	△1,209.3億円	—	△1,209.3億円
財源	1,231.1億円	—	1,231.1億円
● 税収等	923.2億円	—	923.2億円
● 国県等補助金	307.9億円	—	307.9億円
本年度差額	21.8億円	—	21.8億円
● 固定資産等の変動(内部変動)	—	80.7億円	△80.7億円
● 有形固定資産等の増加	—	211.3億円	△211.3億円
● 有形固定資産等の減少	—	△89.5億円	89.5億円
● 貸付金・基金等の増加	—	48.2億円	△48.2億円
● 貸付金・基金等の減少	—	△89.3億円	89.3億円
● 資産評価差額	—	—	—
● 無償所管換等	68.7億円	68.7億円	—
● その他	78.8億円	—	78.8億円
本年度純資産変動額	169.3億円	149.4億円	19.9億円
本年度末純資産残高	7,998.2億円	8,910.4億円	△912.1億円

△表示はマイナスを表します。

貸借対照表の純資産の額と一致

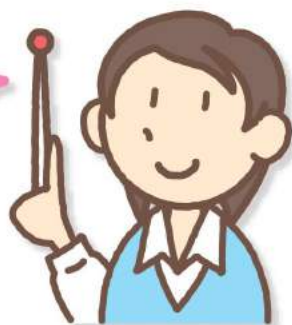
貸借対照表の固定資産と、流動資産のうち短期貸付金と基金の合計

純資産総額と固定資産等形成分の差額

平成29年4月1日から平成30年3月31日までに得られた財源から純行政コストを差し引いた本年度差額は、約21.8億円で、無償所管換等の増減なども合わせると本年度純資産変動額は約169.3億円です。

4 行政サービスにはどのくらいの費用がかかっているの？ ～行政コスト計算書～

ごみの収集や福祉サービスの提供など直接資産の形成に結びつかない行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったかを表すものが行政コスト計算書です。



●平成29年度 行政コスト計算書(一般会計等)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	金額	構成比率
経常費用 ①	1,279.3億円	100.0%
業務費用	712.1億円	55.7%
人件費	269.6億円	21.1%
職員給与費	221.5億円	17.3%
賞与等引当金繰入額	15.2億円	1.2%
退職手当引当金繰入額	13.7億円	1.1%
その他	19.2億円	1.5%
物件費等	430.2億円	33.6%
物件費	315.2億円	24.6%
維持補修費	29.0億円	2.3%
減価償却費	85.3億円	6.7%
その他	0.7億円	0.0%
その他の業務費用	12.3億円	1.0%
支払利息	5.9億円	0.5%
その他	6.4億円	0.5%
移転費用	567.2億円	44.3%
補助金等	168.5億円	13.2%
社会保障給付	296.4億円	23.1%
他会計への繰出金	84.7億円	6.6%
その他	17.6億円	1.4%
経常収益 ②	70.3億円	
純経常行政コスト ③ (①-②)	1,209.0億円	
臨時損失 ④	2.5億円	
臨時利益 ⑤	2.2億円	
純行政コスト ③+④-⑤	1,209.3億円	

29年度に発生した30年度に支給される期末手当等の見込額

本年度に想定する将来支給される退職手当の見込額

消耗品費や委託料などのうち資産計上されないもの

施設の老朽化などにより補修を行った経費

耐用年数に基づいて計算された建物・工作物などの価値減少分

地方債の支払利息

団体や個人に支払う補助金や負担金など

一般会計等から地方公営事業会計への繰出金

保育園、市営住宅の使用料や住民票の交付手数料など

資産の売却損益など、臨時的な損益

コスト全体から、使用料など行政サービスを利用した人の負担額、臨時損失、臨時収益を足し引きした額を示しています。

差引の純行政コスト約1,209億円は、市税などの一般財源や国県からの補助金などでまかっています。

5 資産のうち、現金の動きは？ ～資金収支計算書～



貸借対照表の左側(借方)、資産の部に計上されている現金をその支出の性質から3つに分けて、現金の変動を表すものが、資金収支計算書です。

資金収支計算書は、引当金や減価償却費などの現金でない支出を含まないことから、ほかの財務書類と違い、現金のみの表示となっており、市の決算書に一番近い財務書類といえます。

●平成29年度 資金収支計算書(一般会計等)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	業務活動収支	
	業務支出	1,195.2億円
様々な業務を行うにあたって支出した金額 市債の利息の支払いに要した金額 団体や個人に支払った補助金や負担金など 一般会計等から特別会計への繰出金 市税、国県等補助金などの収入 災害復旧などに要した金額 災害復旧に関する補助金などの収入 公共施設等の整備、基金の積立てなどに要した支出 国県等補助金、基金の取り崩し、資産の売却などの収入 地方債の償還などに要した支出 地方債の発行などの収入 業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の合計額	業務費用支出	628.0億円
	人件費支出	270.2億円
	物件費等支出	347.4億円
	支払利息支出	5.8億円
	その他の支出	4.6億円
	移転費用支出	567.2億円
	補助金等支出	168.5億円
	社会保障給付支出	296.4億円
	他会計への繰出支出	84.7億円
	その他の支出	17.6億円
	業務収入	1,261.0億円
	税収等収入	922.7億円
	国県等補助金収入	268.7億円
	使用料及び手数料収入	39.2億円
	その他の収入	30.4億円
	臨時支出	0.1億円
	臨時収入	30.1億円
	合計	95.8億円 ①
	投資活動収支	
	投資活動支出	259.5億円
	投資活動収入	107.9億円
	合計	△151.6億円 ②
	財務活動収支	
	財務活動支出	77.9億円
	財務活動収入	155.8億円
	合計	77.9億円 ③
	本年度資金収支額	22.1億円 ④
	前年度末資金残高	51.9億円 ⑤
	本年度末資金残高	74.0億円 ⑥
	本年度末歳計外現金残高	4.4億円
	本年度末現金預金残高	78.4億円



△表示はマイナスを表します。

①+②+③=④ 投資活動収支は赤字となっており、その赤字分を業務活動収支と財務活動収支の地方債発行収入分で補っていることがわかります。

④+⑤=⑥ 本年度の収支は黒字となっており、前年度末からさらに黒字が増えたことがわかります。

6 財務書類を分析すると




民間企業では、経営状態をわかりやすく説明するためなどに様々な指標を公開しています。

財務書類でも分析の指標が示されていますので、一般会計等の数値で算出したものをいくつか紹介します。

この指標は国で定めたものですので、他自治体とも比較することができます。



指標は円単位で算出しています。

	指標名 / 計算式	数 値	説 明
資産形成度	 市民一人当たり資産額 209万1千円 資産額 ÷ 年度末住民基本台帳人口	H29 2,091,044円 H28 2,060,327円 類似団体平均 (千円単位) 1,539,000円	市民一人当たりの額にすることにより、実感しやすい情報となるとともに、人口規模が異なる他の団体との比較ができるようになります。
	資産老朽化比率 (減価償却累計額 ÷ 償却資産取得価額) × 100	H29 55.1% H28 56.4%	耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを把握することができます。
世代間公平性	純資産比率 (純資産額 ÷ 資産額) × 100	H29 88.8% H28 88.6% 類似団体平均 78.3%	資産額に対する純資産額の割合をみることで、基本的な財務健全性を見ることができます。また、資産額のうち、現在までの世代が負担してきた額の割合がわかります。
持続可能性	 市民一人当たり負債額 23万4千円 負債額 ÷ 年度末住民基本台帳人口	H29 233,849円 H28 234,741円 類似団体平均 (千円単位) 334,000円	市民一人当たりの額にすることにより、実感しやすい情報となるとともに、人口規模が異なる他の団体との比較ができるようになります。
効率性	 市民一人当たり行政コスト 28万1千円 純行政コスト ÷ 年度末住民基本台帳人口	H29 280,794円 H28 286,033円 類似団体平均 (千円単位) 305,000円	市民一人当たりの額にすることにより、実感しやすい情報となるとともに、人口規模が異なる他の団体との比較ができるようになります。
弾力性	行政コスト対税収等比率 (純経常行政コスト ÷ (税収等 + 補助金等受入)) × 100	H29 98.2% H28 99.6%	当該年度の税収等のうち、どれだけが資産形成の伴わない純経常行政コストに消費されたのかが分かります。100%に近づくほど資産形成の余裕度が低いといえます。
自律性	受益者負担の割合 (経常収益 ÷ 経常費用) × 100	H29 5.5% H28 5.4% 類似団体平均 4.8%	行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を算出することができます。

ここまで「一般会計等」の財務書類について説明してきました。

ここで紹介しきれなかった指標や、財務書類の補足説明資料である「附属明細書」、「注記」、地方公営事業会計などを加えた「全体会計」、さらに関連団体を加えた「連結会計」の財務書類は、市のウェブサイトでご覧いただくことができます。

最後までお読みいただきありがとうございました。

藤沢市の財政について、少しでもご理解いただければ幸いです。

財政課のホームページでは予算書などの資料を公開しています。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/index.html>

※藤沢市の借金残高が1秒ごとに変化する「借金時計」も公開しています。

また、お近くの市民センター・公民館、図書館などでも各種資料をご覧いただけます。



藤沢市財政課
ホームページ

 <p>かながわ信用金庫 かなしん</p>	<p>わかりやすい藤沢市の財政 2019 の制作費の一部は 企業のみなさまの広告料に よって賄われています。</p>	<p>街にいい風 あなたにいい風 SHONAN 藤沢支店 0466-27-6310</p>
<p>ガスも、電気も、東京ガス。</p>    <p>東京ガスグループだから、まかせて安心!</p>		 <p>東京海上日動</p>
<p>東京ガス(株) 神奈川西支店・東京ガスライフバル湘南 東京ガスエネットワーク(株) ☎ 0466-47-7130 藤沢市片瀬92 (月～土 9:00～19:00 日・祝 9:00～17:30)</p>		 <p>TOTAL REALTY ADVISORS</p>
 <p>くらしとしごと 夢ある未来</p> <p>私たちはICTを通じて、 豊かな地域社会の発展と夢ある未来の創造に貢献します。</p> <p>Yec 株式会社 ワイイーシーソリューションズ</p> <p>http://www.yec.ne.jp/</p> 		

わかりやすい 藤沢市の財政2019

平成31年度予算と平成29年度決算のデータにもとづいて作成
2019年3月 発行

発行/藤沢市財務部財政課

〒251-8601 藤沢市朝日町1-1

電話 0466-50-3503

FAX 0466-50-8405

E-mail fj-zaisei@city.fujisawa.lg.jp

再生紙を使用しています

※各ページの表・グラフなどの数値について、その積み上げと合計が一致しないところがあります。

※各ページの表・グラフなどの和暦の表示は年度を表しています。

※紙面の都合上、西暦と和暦が混在しています。

ふじさわの
財政のこと、もっと
理解しなきゃ…

